



# まなび舎



## 年度のまとめとなる学期に向けて

副校長 岸田 大輔

寒さが厳しい日が続いておりますが、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

3学期が始まり約一か月が経ち、生徒たちは、寒さに負けず、毎日の学習や作業学習・職業に関する専門教科、実習に意欲的に取り組んでいます。日々の学校生活の中で、自分の役割を意識しながら行動しようとする姿や、最後までやり遂げようとする姿からは、学年のまとめの時期にふさわしい落ち着きと成長が感じられます。特に3年生にとっては、卒業後の進路を見据え、自立や社会参加に向けた大切な時期となっています。1・2年生にとっても、次の学年、さらには将来につながる力を身に付けるための重要な学期です。教職員一同、生徒一人一人の状況に寄り添いながら、丁寧な指導・支援に努めてまいります。

また、この時期は体調を崩しやすく、感染症への注意も必要です。規則正しい生活や体調管理について、御家庭と連携しながら進めていきたいと考えております。年度のまとめとなる大切な時期を、生徒たちが安心して充実した学校生活を送れるよう、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

## 普通科生徒会選挙について

担当 津田 江美

1月9日(金)に、普通科3年生5名からなる選挙管理委員が、普通科在籍生徒全員に選挙の告示を行いました。令和8年度の生徒会役員にどんな役割があるか、どんな資質が求められるかといった説明を聞き、1・2年生が立候補について考える様子が見られました。また、港特別支援学校の全生徒が生徒会の会員で、選挙では1票ずつ投票できることも説明がありました。立候補者はポスターとたすきを自分達で作成し、選挙運動も精力的に行なうことができました。1月23日(金)に立会演説会を経て、投票が行われました。立候補者も有権者も自分たちが選挙活動に参加する楽しさややりがい、投票で選ばれた代表が願いを実現してくれる経験を、将来に生かすことができると願っています。

## 職能開発科生徒会選挙について

担当 鈴木 貴

職能開発科も1月9日(金)に、選挙管理委員7名が選挙の告示を行いました。短い準備期間でしたが、候補者・推薦者とも準備を行い、立会演説会に向けて取り組む様子が見られました。また投票の前には港区選挙管理委員会より送っていただいた選挙資料を基に学習し、実際の選挙と同様に投票入場券を使って受付を済ませ、投票用紙を受け取って投票しました。また選挙の仕組みを理解するため、実習面接等の予定が事前に分かっている生徒については、期日前投票を済ませることもできました。投票で代表を選び、協力して学校生活に自分たちの思いを反映していく体験を、実際に選挙権を得た後にも生かして行ってほしいと願っています。最後に、旧生徒会役員の皆さん、1年間ありがとうございました。新生徒会役員の皆さん、これまでの良き伝統を受けついで、より良い学校生活が送れるよう頑張ってください。期待しています。

## 全校研究会について

研究部 担当 石川 敦士

1月22日(木)全校研究会(校内全教員を対象)を実施しました。今年度の校内研究のテーマは、「知的障害特別支援学校における生徒の主体性を高める授業実践とその共有」でした。今年度は、昨年度まで実施してきたICT機器の活用だけでなく、各教員が担当している教科等で活用している教材やそれを主体的な学びにつなげていくために実践した内容をお互いに共有することを目的としました。また、昨年度に引き続き、本校の外部専門員で元都立特別支援学校指導教諭、現在は一般社団法人SOZO Perspective代表理事 海老沢譲氏を講師として招聘し、若手教員の授業観察を基にした助言、生成AIの可能性等について講演をしていただきました。

今回の研究会を通じて、これまでの授業実践の良い部分は継承しつつも、新たな授業設計を考えていくことが必要だと実感しました。生徒が自ら意思を表出し、動きだすしかけを授業内で作っていくことが主体的な学びにつながっていくことと共に、生徒個々に応じた進路実現の充実につながっていきます。より豊かな学びが実践できるように、引き続き、教職員全体で研鑽を積んでいきます。